



Catalyst 2960-8TC/Catalyst 2960G-8TC スイッチ スタートアップ ガイド

ライセンスおよび保証を含む



このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

FCC クラス A 適合装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に適合していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があります、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 適合装置に関する記述：このマニュアルに記載された装置は、無線周波エネルギーを生成および放射する可能性があります。シスコシステムズの指示する設置手順に従わずに装置を設置した場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に適合していることが確認済みです。これらの仕様は、住宅地で使用したときに、このような干渉を防止する適切な保護を規定したものです。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

シスコシステムズの書面による許可なしに装置を改造すると、装置がクラス A またはクラス B のデジタル装置に対する FCC 要件に適合しなくなることがあります。その場合、装置を使用するユーザの権利が FCC 規制により制限されることがあり、ラジオまたはテレビの通信に対するいかなる干渉もユーザ側の負担で矯正するように求められることがあります。

装置の電源を切ることによって、この装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。干渉がなくなれば、シスコシステムズの装置またはその周辺機器が干渉の原因になっていると考えられます。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- ・干渉がなくなるまで、テレビまたはラジオのアンテナの向きを変えます。
- ・テレビまたはラジオの左右どちらかの側に装置を移動させます。
- ・テレビまたはラジオから離れたところに装置を移動させます。
- ・テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続します（装置とテレビまたはラジオがそれぞれ別個のブレーカーまたはヒューズで制御されるようにします）。

米国シスコシステムズ社では、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

シスコシステムズが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB(University of California, Berkeley) パブリック ドメイン バージョンの一部として、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取引によって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコシステムズまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いかねます。

CCVP, the Cisco Logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, *Packet*, PIX, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0609R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Catalyst 2960-8TC/Catalyst 2960G-8TC スイッチ スタートアップ ガイド

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.



スタートアップガイド

このマニュアルについて



(注)

このマニュアルでは、Catalyst 2960-8TC および Catalyst 2960G-8TC スイッチに関する情報を示します。その他の Catalyst 2960 スイッチに関する情報は、Cisco.com の『*Catalyst 2960 Switch Hardware Installation Guide*』を参照してください。

このスタートガイドには、Express Setup を使って Catalyst スイッチを初期設定する方法が記載されています。また、スイッチの管理オプション、基本的な設置手順、ポートおよびモジュールの接続、電源の接続手順、トラブルシューティングヘルプについても解説されています。

Catalyst 2960 スイッチのその他のインストレーションおよびコンフィギュレーションについては、Cisco.com で Catalyst 2960 のマニュアルを参照してください。システム要件、重要な注意事項、制限事項、未解決および解決済みの不具合、最新のマニュアル更新状況については、Cisco.com のリリース ノートを参照してください。

オンラインの資料を使用する場合は、スイッチで実行する Cisco IOS ソフトウェアのバージョンに対応するものを参照してください。ソフトウェアのバージョンは、スイッチの背面パネルの Cisco IOS ラベルに記載されています。

このガイドに記載されている保証の各国語版については、付属の『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 2960 Switch*』を参照してください。

目次

- 「部品の確認」(p.3)
- 「Express Setup の実行」(p.5)
- 「スイッチの管理」(p.10)
- 「スイッチの設置」(p.12)
- 「スイッチ ポートへの接続」(p.18)
- 「問題が発生した場合」(p.21)
- 「マニュアルの入手方法」(p.25)
- 「シスコ製品のセキュリティ」(p.26)
- 「Product Alert および Field Notice」(p.28)
- 「テクニカル サポート」(p.29)
- 「その他の資料および情報の入手方法」(p.32)
- 「シスコ製品（ハードウェア）に関する限定保証規定」(p.34)

部品の確認

次の手順を実行します。

1. 梱包用の箱を開き、スイッチとアクセサリキットを取り出します。
2. 梱包材は梱包用の箱に戻し、保管しておいてください。
3. 「**梱包内容**」の章に記載されている品目が揃っていることを確認します。欠品または破損している品目がある場合は、製品を購入された代理店またはリセラーにご連絡ください。スイッチモデルによっては、記載されていない品目が含まれている場合があります。

Express Setup の実行に必要な機器（ユーザ側で用意するもの）

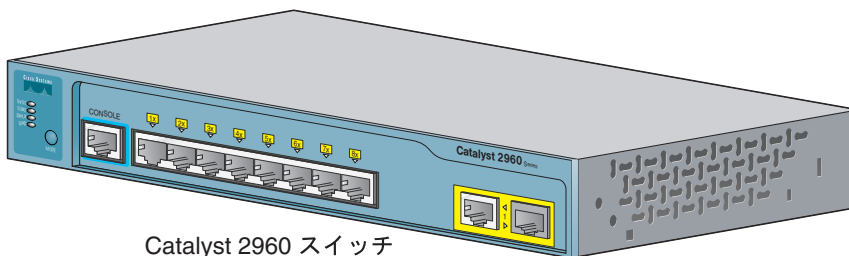
Express Setup を実行するには、次の機器が必要です。

- PC
- カテゴリ 5 のストレートイーサネットケーブル（下図を参照）

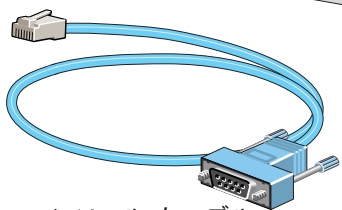


■ 部品の確認

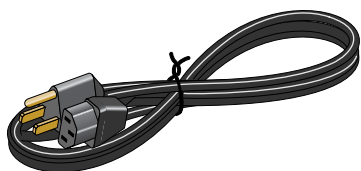
梱包内容



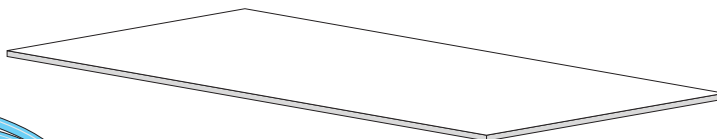
Catalyst 2960 スイッチ



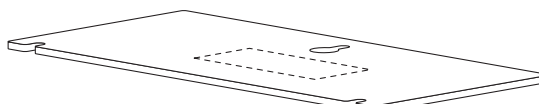
コンソール ケーブル



AC 電源コード
(AC 電源のスイッチのみ)



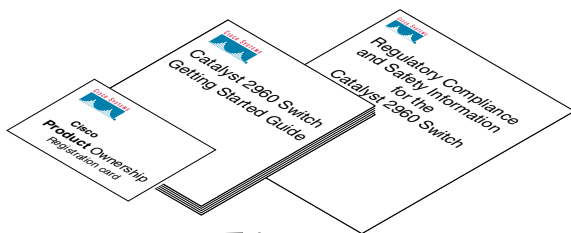
取り付け用磁石



ネジ用テンプレート



No.8 のなべネジ × 3



マニュアル



ゴム製の脚 × 4

Express Setup の実行

初めてスイッチをセットアップする場合、Express Setup を使って初期 IP 情報を入力する必要があります。IP 情報を入力すると、スイッチをローカル ルータとインターネットに接続できます。その結果 IP アドレスを使ってスイッチにアクセスし、詳細な設定ができるようになります。

Express Setup を実行する手順は次のとおりです。

ステップ 1 スイッチに接続されている装置がないことを確認します。

Express Setup の実行中、スイッチは Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) サーバとして動作します。PC に静的な IP アドレスが設定されている場合は、あらかじめ PC の設定を変更し、一時的に DHCP を使用する設定にしておきます。

ステップ 2 付属品の AC 電源コードをスイッチの電源コネクタとアース付き AC コンセントに接続し、スイッチの電源を入れます。

ステップ 3 スイッチの電源がオンになると、Power-on Self-Test (POST; 電源投入時自己診断テスト) が開始されます。POST の実行中、一連のテストによりスイッチが正常に動作していることが確認されている間は LED が点滅します。

POST が完了するまで待ちます。数分かかることがあります。

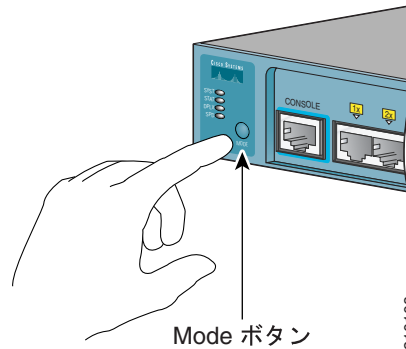
ステップ 4 POST が完了すると、SYST LED がグリーンのまま点灯します。POST に失敗すると、SYST LED がオレンジに変わります。

POST エラーは通常、修復不能です。スイッチが POST に失敗した場合は、ただちにシスコのテクニカル サポートにご連絡ください。

Express Setup の実行

- ステップ 5** Mode ボタンを押したまま 3 秒待ちます。Mode ボタンの左側の LED がすべてグリーンに変わったら、Mode ボタンを放します。

Mode ボタンを押すとボタン左側の LED が点滅する場合は、ボタンを放します。LED が点滅する場合はスイッチが設定済みとなっており、Express Setup モードが利用できません。詳細については、「[スイッチのリセット](#)」(p.22)を参照してください。



210108

- ステップ 6** Mode ボタンの左側の LED がすべてグリーンになっていることを確かめて、スイッチが Express Setup モードであることを確認します。

- ステップ 7** スイッチの前面パネルにあるいずれかの 10/100 または 10/100/1000 イーサネットポートに、カテゴリ 5 イーサネットケーブルを接続します。

ケーブルの反対側を PC のイーサネットポートに接続します。



DHCP を有効にした PC

210109

- ステップ 8** 両方のイーサネットポートの LED がグリーンになっていることを確認します。30 秒間待ちます。

- ステップ 9** PC の Web ブラウザを起動します。ブラウザに IP アドレス 10.0.0.1 を入力し、Enter を押します。



Express Setup ページが表示されます。表示されない場合は、「[問題が発生した場合](#)」(p.21)を参照してください。



(注) Express Setup ウィンドウに入力するデータはすべて英数字でなければなりません。

The screenshot shows the Express Setup configuration interface. It is divided into two main sections: Network Settings and Optional Settings. The Network Settings section contains fields for Management Interface (VLAN ID), IP Address, Subnet Mask (with a dropdown menu showing 255.255.255.0), Default Gateway, Switch Password, and Confirm Switch Password. The Optional Settings section contains fields for Host Name (with a dropdown menu showing Switch), Telnet Access (with radio buttons for Enable and Disable, where Disable is selected), Telnet Password, Confirm Telnet Password, SNMP (with radio buttons for Enable and Disable, where Disable is selected), SNMP Read Community, SNMP Write Community, System Contact, and System Location.

ステップ 10 Network Settings フィールドに、次の情報を入力します。

- **Management Interface (VLAN ID)** フィールドのデフォルトは 1 です。スイッチを管理する管理インターフェイスを変更する場合にだけ、新しい VLAN (仮想 LAN) ID を入力します。VLAN ID の範囲は 1 ~ 1001 です。
- **IP Address** フィールドにスイッチの IP アドレスを入力します。この IP アドレスが、管理 VLAN にも割り当てられます。**IP Subnet Mask** フィールドでは、下向きの矢印をクリックして **IP Subnet Mask** を指定します。
- **Default Gateway** フィールドに、デフォルト ゲートウェイ (ルータ) の IP アドレスを入力します。
- **Switch Password** フィールドにパスワードを入力します。パスワードは 1 ~ 25 文字の英数字で指定できます。先頭の文字を数字にしてもかまいません。大文字と小文字は区別されます。途中にスペースを使用することはできませんが、先頭または末尾にはスペースを使用できません。**Confirm Switch Password** フィールドにもう一度パスワードを入力します。

ステップ 11 (オプション) デバイス マネージャ インターフェイスを使用して、**Optional Settings** の情報をこの時点で入力することもあとから入力することもできます。

- **Host Name** フィールドにスイッチの名前を入力します。ホスト名は 31 文字以内で、途中にスペースを含めることはできません。
- **System Contact** フィールドにスイッチの担当者名を入力します。**System Location** フィールドに、スイッチが設置されているワイヤリング クローゼット、階、またはビルを入力します。
- CLI(コマンドライン インターフェイス)を使ってスイッチを管理するために Telnet を使用する場合は、**Telnet Access** フィールドで、**Enable** をクリックします。Telnet によるアクセスを有効にするには、Telnet のパスワードを入力する必要があります。
- **Telnet Password** フィールドにパスワードを入力します。Telnet のパスワードは 1 ~ 25 文字の英数字で指定でき、大文字と小文字は区別されます。途中にスペースを使用することはできませんが、先頭または末尾にはスペースを使用できません。**Confirm Telnet Password** フィールドに、もう一度 Telnet パスワードを入力します。
- **SNMP** フィールドで **Enable** をクリックすると、SNMP(簡易ネットワーク管理プロトコル)が有効になります。SNMP は、CiscoWorks 2000 またはその他の SNMP ベースのネットワーク管理システムを使ってスイッチを管理する場合にのみ有効にします。

SNMP を有効にする場合、**SNMP Read Community** フィールドと **SNMP Write Community** フィールドの両方またはどちらか一方にコミュニティ スtringを入力する必要があります。SNMP コミュニティ スtringにより、MIB オブジェクトへのアクセスが認証されます。SNMP コミュニティ スtringの途中にスペースを使用することはできません。SNMP read コミュニティを設定した場合、SNMP 情報にアクセスはできますが、SNMP 情報の変更はできません。SNMP write コミュニティを設定した場合、SNMP 情報にアクセスすることも SNMP 情報を変更することもできます。

ステップ 12 **Submit** をクリックすると設定が保存されます。**Cancel** をクリックすると設定が消去されます。

Submit をクリックすると、スイッチが設定され、Express Setup モードを終了します。PC が警告メッセージを表示し、新しいスイッチ IP アドレスへの接続を試みます。スイッチに PC とは異なるサブネットの IP アドレスを設定した場合、PC とスイッチの接続ができなくなります。

ステップ 13 スイッチを PC から切断し、業務用ネットワーク内に設置します。スイッチの設定および管理については、「[スイッチの管理](#)」(p.10) を参照してください。

Express Setup を再実行する必要がある場合は、「[スイッチのリセット](#)」(p.22) を参照してください。

PC の IP アドレスの更新

Express Setup を完了したら、PC の IP アドレスを更新します。

動的に割り当てられた IP アドレスの場合、スイッチから PC を切断し、ネットワークに再接続します。ネットワーク DHCP サーバにより、PC に新しい IP アドレスが割り当てられます。

静的に割り当てた IP アドレスの場合、前回設定した IP アドレスに戻します。

スイッチの管理

Express Setup を完了し、スイッチをネットワークに設置したあと、次に説明するデバイス マネージャ、Cisco Network Assistant、またはその他の管理オプションを使用して詳細設定を行います。

デバイス マネージャ の使用

スイッチのメモリに組み込まれているデバイス マネージャを使用すると、スイッチを簡単に管理できます。デバイス マネージャの Web インターフェイスを介して、迅速に設定やモニタリングを行うことができます。デバイス マネージャには、Web ブラウザがあれば、ネットワーク内のどこからでもアクセスできます。

次の手順を実行します。

1. PC またはワークステーションの Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザからスイッチの IP アドレスを入力し、**Enter** を押します。デバイス マネージャが表示されます。
3. デバイス マネージャを使用して、スイッチの基本的な設定やモニタを行います。デバイス マネージャについての詳細は、オンライン ヘルプをご覧ください。
4. さらに詳細な設定を行うには、次に説明する方法で Cisco Network Assistant をインストールします。

Cisco Network Assistant のダウンロード

Cisco Network Assistant は、Cisco.com からダウンロードして自分の PC で使用できる無料のソフトウェアです。Network Assistant には、スイッチ、スイッチ クラスタ、スイッチ スタック、ルータ、アクセス ポイントなどの複数の装置を構成してモニタするための詳細なオプションが用意されています。Network Assistant のダウンロード、インストール、または使用に際して、料金は一切かかりません。

次の手順を実行します。

1. 次の Web アドレスにアクセスします。
<http://www.cisco.com/go/NetworkAssistant>

Cisco.com のユーザ登録が必要ですが、その他のアクセス権限は不要です。

2. Network Assistant インストーラを探します。
3. Network Assistant インストーラをダウンロードして実行します（ブラウザによっては、インストーラを Web から直接実行できる場合があります）。
4. インストーラの実行後は、表示される指示に従ってください。最終のパネルで **Finish** をクリックし、Network Assistant のインストールを完了します。
詳細は、Network Assistant のオンライン ヘルプおよび『*Getting Started Guide*』を参照してください。

CLI

CLI 経由で Cisco IOS コマンドとパラメータを入力できます。CLI には PC から直接スイッチ コンソール ポートに接続するか、リモート PC またはワークステーションから Telnet セッションを通じて接続します。

次の手順を実行します。

1. 付属の RJ-45/DB-9 アダプタ ケーブルを、PC の標準 9 ピンのシリアル ポートに接続します。ケーブルの反対側をスイッチのコンソール ポートに接続します。
2. PC で、端末エミュレーション プログラムを起動します。
3. PC 端末エミュレーション ソフトウェアを、9600 ボー、8 データ ビット、パリティなし、1 ストップ ビット、フロー制御なしに設定します。
4. CLI を使用して、スイッチを設定するコマンドを入力します。詳細については、『*Software Configuration Guide*』および『*Command Reference*』を参照してください。

その他の管理オプション

Cisco Works Small Network Management Solution (SNMS) および HP OpenView などの SNMP 管理アプリケーションを使用して、スイッチの設定や管理を行うことができます。HP OpenView、および SunNet Manager などのプラットフォームが稼働している SNMP 互換ワークステーションからスイッチを管理することもできます。

■ スイッチの設置

Cisco IE2100 Series Configuration Registrar は、スイッチ ソフトウェア内蔵の CNS エージェントとともに動作するネットワーク管理装置です。IE2100 を使用すると、スイッチの初期設定と設定更新を自動化できます。

対応するマニュアルの一覧は、「[オンライン ヘルプの利用](#)」(p.23) を参照してください。

スイッチの設置



(注) ここでは、Catalyst 2960-8TC および Catalyst 2960G-8TC スイッチの設置方法を説明します。その他の Catalyst 2960 スイッチに関する情報は、Cisco.com の『*Catalyst 2960 Switch Hardware Installation Guide*』を参照してください。

ここでは、スイッチを卓上またはシェルフに設置する方法と、取り付け用磁石を使用して設置する方法を説明します。例として使用する図はすべて Catalyst 2960-8TC スイッチのもので、その他の設置手順(スイッチをラックや壁面に取り付ける場合など)については、Cisco.com の『*Catalyst 2960 Switch Hardware Installation Guide*』を参照してください。


ユーザ側で用意する工具

スイッチを設置するには、次の工具が必要です。

- No.2 プラス ドライバ
- #27 ドリル ビット (0.144 インチ [3.7 mm]) 付きドリル

作業を開始する前に

スイッチの取り付け場所を決める場合は、次の注意事項に適合していることを確認してください。

- スwitchの周囲および通気口を通過するエアフローが妨げられないようにします。
 - すべてのスイッチ間に 3 インチ (7.6 cm) 以上のスペースを確保できる場合を除いて、スイッチを積み重ねたり、横に並べたりしないでください。
 - スwitchの前面パネルを上向きまたは横向きにした状態で、スイッチを壁面に取り付けしないでください。スイッチを壁面に取り付ける場合は、エアフローを確保するとともにケーブルを扱いやすくするため、スイッチの前面パネルを下向きにして取り付けことを推奨します。
 - スwitchの前面および背面パネルの周囲のスペースが、次の条件を満たしていることを確認します。
 - 前面パネルの LED を容易に確認できる
 - ポートに無理なくケーブルを接続できる
 - AC 電源コードが AC コンセントからスイッチの背面パネルのコネクタに届く
 - ケーブルはラジオ、電力線、蛍光灯などの電気ノイズの発生源から遠ざけて配線します。
 - 10/100 ポートおよび 10/100/1000 ポートの場合、スイッチから接続先装置までのケーブル長が 328 フィート (100 m) を超えないようにします。
 - 着脱可能小型フォーム ファクタのケーブル長については、モジュールに付属のマニュアルを参照してください。
-  **(注)** 通気口の周囲に 3 インチ (7.6 cm) 以上のスペースを確保することを強く推奨します。
- スwitch周辺の室温が 113°F (45°C) を超えないようにします。
 - スwitch周辺の湿度が 85% を超えないようにします。
 - 設置場所は標高 10,000 フィート (3,049 m) を超えないものとします。
 - スwitchの上にものを置かないでください。
 - スwitchが最高温度の 113°F (45°C) で動作していて、周囲の温度が通常の室温を超えている場合 (クローゼット、キャビネット、または閉塞型のマルチトラック アセンブリの内部など) スwitch底面に触れると熱く感じる場合があります。
 - ラック内ではスイッチの上部に 1.75 インチ (4 cm) 以上のスペースを確保してください。
 - 磁石を使用せずにスイッチを水平面に設置する場合、スイッチにゴム製の脚を取り付けることを強く推奨します。そうすればエアフローが妨げられず、過熱を防ぐことができます。

設置に関する警告

ここでは、設置に関する基本的な警告を説明します。



警告

スイッチの過熱を防止するために、室温が 113°F (45°C) を超える環境では使用しないでください。また、通気を妨げないように、通気口の周囲に 3 インチ (7.6 cm) 以上のスペースを確保してください。



警告

ラックに装置を取り付けたり、ラック内の装置のメンテナンス作業を行ったりする場合は、事故を防ぐため、装置が安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次の注意事項を守ってください。

ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。

ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下にして、下から順番に取り付けます。

ラックにスタビライザが付属している場合は、スタビライザを取り付けてから、スイッチの設置したり、ラック内のスイッチを保守してください。



警告

この装置は、アースされていることが前提になっています。通常の使用時には必ず装置がアースされているようにしてください。



警告

クラス 1 レーザー製品です。



警告

屋外に設置されている機器に接続する場合は、回路保護を内蔵する認定済みのネットワーク端末を経由して 10/100/1000 イーサネット ポートに接続する必要があります。

卓上またはシェルフへのスイッチの固定



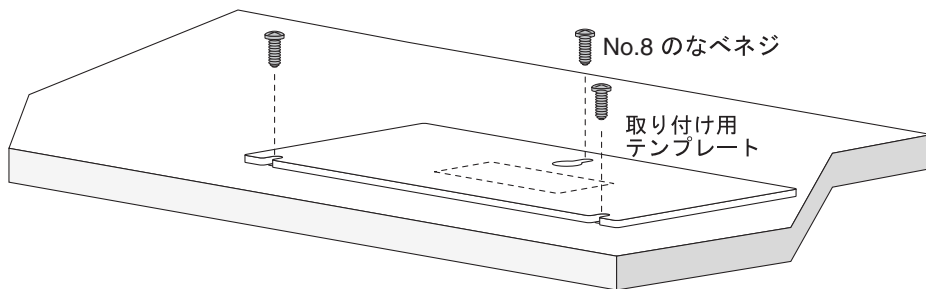
(注)

ここでは、Catalyst 2960-8TC および Catalyst 2960G-8TC スイッチの設置方法を説明します。その他の Catalyst 2960 スイッチに関する情報は、Cisco.com の『*Catalyst 2960 Switch Hardware Installation Guide*』を参照してください。

取り付けネジを使用せずにスイッチを卓上に設置する場合は、スイッチの底面パネルにゴム製の脚を取り付けます。

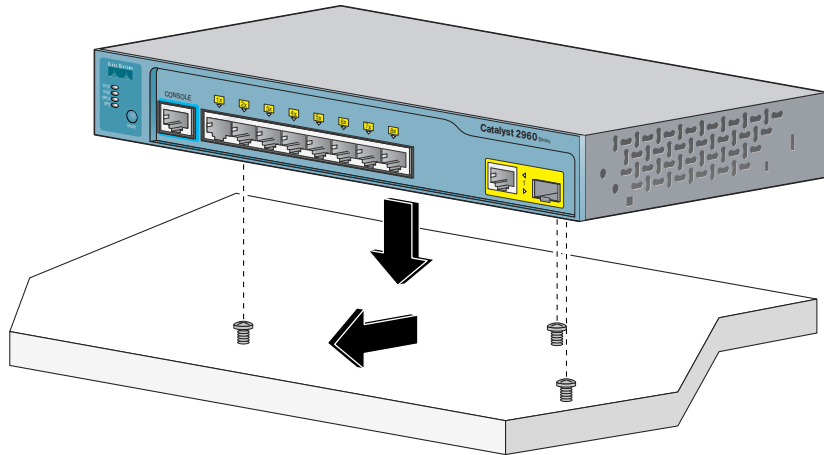
机またはシェルフの上下、または壁面にスイッチを固定する場合は、取り付け用テンプレートおよび取り付けネジを使用します。次の手順を実行します。

1. ネジ用テンプレートの横に並んだ 2 つのスロットを前向きにして、テンプレートを設置面に置きます。底面から粘着テープをはがし、テンプレートを貼り付けます。
2. 0.144 インチ (3.7 mm) または #27 ドリルビットを使用して、テンプレートの 3 つのネジ穴位置に 1/2 インチ (12.7 mm) の穴を開けます。
3. ネジ穴にネジを差し込み、テンプレートに届くまでネジを締めます。設置面からテンプレートを取り外します。



4. 取り付けネジの位置にスイッチを置き、前へスライドさせて固定します。

■ スイッチの設置

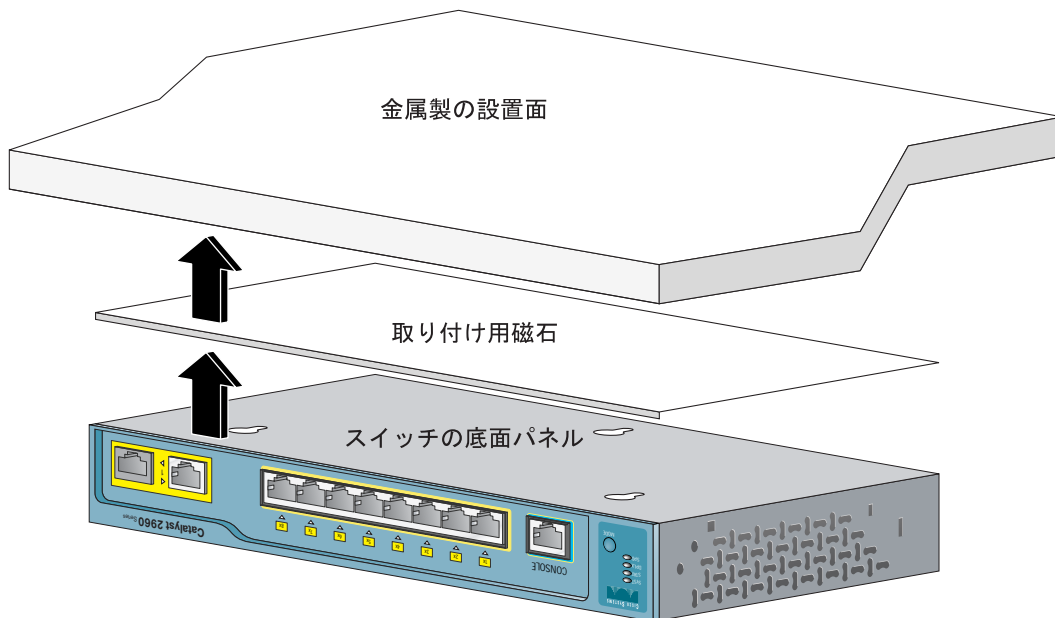


210094

磁石パネルによるスイッチの設置

次の手順を実行します。

1. 取り付け用磁石を設置面に置きます。
2. スイッチの底面を取り付け用磁石に合わせます。



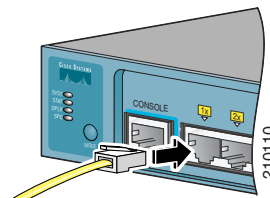
スイッチポートへの接続

ここでは、スイッチポート、SFP モジュールポート、およびデュアルパーパスポートに接続する方法を説明します。ケーブル接続についての詳細は、Cisco.com の『*Catalyst 2960 Switch Hardware Installation Guide*』を参照してください。

10/100 および 10/100/1000 ポートへの接続

次の手順を実行します。

ステップ 1 サーバ、ワークステーション、IP Phone、ワイヤレスアクセスポイント、ルータに接続する場合は、スイッチの 10/100 および 10/100/1000 ポートにカテゴリ 5 の 4 ツイストペアストレートケーブルを挿入します。他のスイッチ、ハブ、リピータに接続する場合は、カテゴリ 5 の 4 ツイストペアクロスケーブルを使用します。



10/100 または 10/100/1000 ポート

ステップ 2 接続先装置の RJ-45 コネクタにケーブルの反対側を差し込みます。

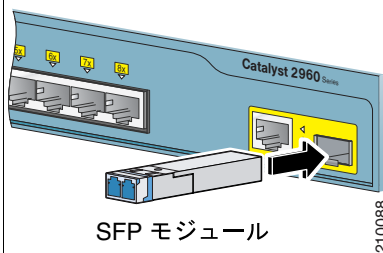


(注) ケーブル接続を簡易化するため、スイッチでは Automatic Medium-Dependent Interface Crossover (Auto-MDIX) 機能がデフォルトでイネーブルに設定されています。Auto-MDIX がイネーブルの場合、銅線イーサネット接続に必要なケーブルタイプが自動的に検出され、それに応じてインターフェイスが設定されます。したがって、スイッチの 10/100 または 10/100/1000 イーサネットポートには、接続先装置の種類にかかわらず、クロスケーブルとストレートケーブルのどちらも使用できます。

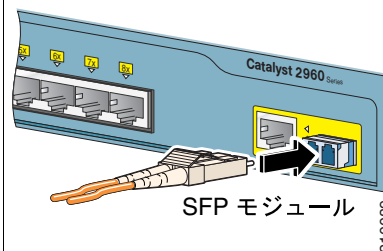
SFP モジュールの取り付けとポートへの接続

次の手順を実行します。

ステップ 1 モジュールの両側をつかみ、スイッチ スロットの奥にカチッとハマるまでモジュールを押し込みます。



ステップ 2 モジュールポートに対応するケーブルを差し込みます。



ステップ 3 ケーブルの反対側を接続先装置に差し込みます。

サポート対象のモジュールのリストは、Cisco.com の『Release Note』を参照してください。SFP モジュールの取り付け、取り外し、接続方法の詳細は、SFP モジュールに付属のマニュアルを参照してください。



注意

SFP モジュールは、着脱によって製品寿命が短くなることがあります。SFP モジュールの取り付けや取り外しは必要最低限にしてください。

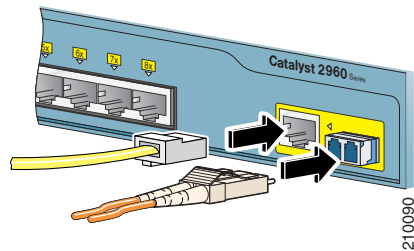
■ スイッチポートへの接続

デュアルパーパスポートの接続

次の手順を実行します。

ステップ 1 10/100/1000 ポートに RJ-45 コネクタを取り付けるか、または SFP モジュール スロットに SFP モジュールを取り付けて SFP モジュールポートにケーブルを接続します。

一度に 1 つのポートだけをアクティブにすることができます。両方のポートを接続した場合は、SFP モジュールポートが優先されます。この優先順位の設定は変更できません。



ステップ 2 ケーブルの反対側を接続先装置に差し込みます。

ポートの接続の確認

スイッチポートを別の装置に接続すると、リンクを確立している間、ポート LED はオレンジになります。約 30 秒でこのプロセスが完了すると、ポート LED はグリーンに変わり、スイッチと接続先装置の間にリンクが確立されます。ポート LED が点灯しない場合、接続先装置が起動していない、ケーブルに問題がある、接続先装置のアダプタに問題があるといった理由が考えられます。オンライン窓口については「[問題が発生した場合](#)」(p.21) を参照してください。

問題が発生した場合

問題が発生した場合は、このセクションまたは Cisco.com のヘルプを参照してください。ここでは Express Setup のトラブルシューティング、スイッチのリセット、オンライン ヘルプへのアクセス方法、その他の情報の参照先について説明します。

Express Setup のトラブルシューティング

Express Setup が実行されない、または Express Setup のページがブラウザに表示されない場合：

<ul style="list-style-type: none"> Express Setup を起動する前に、POST が正常に動作するのを確認しましたか。 	<p>POST の動作を確認していない場合、SYST および STAT LED だけがグリーンになっていることを確認してから MODE ボタンを押すと、Express Setup モードになります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> スイッチが POST を実行しているときに MODE ボタンを押しましたか。 	<p>POST 実行中にボタンを押した場合、POST が完了するまで待ちます。スイッチの電源を切って再投入し、POST が完了するまで待ちます。SYST および STAT LED がグリーンであることを確認します。MODE ボタンを押すと Express Setup モードになります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> スイッチが Express Setup モードであることを確認せずに操作を続けようとしたか。 	<p>MODE ボタンの左側の LED がすべてグリーンであることを確認します。必要に応じて MODE ボタンを押すと Express Setup モードになります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> PC に静的な IP アドレスが設定されていますか。 	<p>PC に静的な IP アドレスが設定されている場合、一時的に DHCP を使用するよう PC の設定を変更してからスイッチに接続します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> スイッチ ポートと PC のイーサネットポートをストレートイーサネットケーブルではなくクロスケーブルで接続しましたか。 	<p>クロスケーブルで接続されている場合、スイッチと PC のイーサネットポートはストレートケーブルで接続します。30 秒待ってから、ブラウザに 10.0.0.1 と入力します。</p>

■ 問題が発生した場合

<ul style="list-style-type: none"> イーサネットケーブルを、スイッチの 10/100 または 10/100/1000 イーサネットポートではなく、コンソールポートに接続しましたか。 	<p>コンソールポートに接続した場合は接続を解除し、スイッチとPCのイーサネットポートに接続します。30秒待ってから、ブラウザに 10.0.0.1 と入力します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> スイッチとPCを接続したあと30秒待ってからブラウザにIPアドレスを入力しましたか。 	<p>30秒待っていない場合は、30秒待ってからブラウザに 10.0.0.1 と再入力し、Enter を押します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ブラウザに間違えたアドレスを入力したりエラーメッセージが表示されたりしていますか。 	<p>アドレスを間違えたりエラーメッセージが表示されたりしている場合は、ブラウザに 10.0.0.1 と再入力してから Enter を押します。</p>

スイッチのリセット

ここでは、Express Setup を再実行してスイッチをリセットする方法を説明します。スイッチのリセットが必要なのは次のような場合です。

- ネットワークにスイッチを設置したが、割り当てた IP アドレスが間違っていたために接続できない。
- スイッチの設定をすべて消去し、新しい IP アドレスを割り当てたい。
- Express Setup モードの起動時に MODE ボタンを押すと、スイッチの LED が点滅する（つまり、スイッチには IP 情報が設定されている）。



注意

スイッチをリセットすると、設定が消去されスイッチが再起動します。

スイッチをリセットするには、MODE ボタンを押し続けます。約 3 秒後にスイッチの LED が点滅し始めます。MODE ボタンを押し続けます。7 秒後に LED の点滅が止まり、スイッチが再起動します。

スイッチは未設定の状態になります。「[Express Setup の実行](#)」(p.5) で説明されている方法で Express Setup を使用して、スイッチの IP 情報を入力します。

オンライン ヘルプの利用

最初に Cisco.com の『*Catalyst 2960 Hardware Installation Guide*』または『*Catalyst 2960 Software Configuration Guide*』の「トラブルシューティング」で問題の解決法を探します。Cisco Technical Support および Documentation Web サイトで、次のような既知のハードウェアの問題とさまざまなトラブルシューティング マニュアルを利用することもできます。

- 出荷時のデフォルト設定およびパスワードの復旧
- 不良または行方不明のソフトウェアの復旧
- スイッチ ポートの問題
- ネットワーク インターフェイス カード
- トラブルシューティング ツール
- 現場での注意事項とセキュリティ勧告

次の手順を実行します。

1. ブラウザを開き、<http://www.cisco.com/> にアクセスします。
2. **Technical Support and Documentation** をクリックします。
3. Documentation の下にある **Switches** をクリックします。
4. LAN Switches の下にある **Cisco Catalyst 2960 Series Switches** をクリックします。

その他の情報について

スイッチの詳細については、Cisco.com で次のマニュアルを参照してください。

- 『*Release Notes for the Catalyst 3750, 3560, 2970, and 2960 Switches*』(発注はできませんが、Cisco.com から入手できます)。スイッチの設置、設定、またはアップグレードを行う前に、Cisco.com のリリース ノートで最新情報を確認してください。
- 『*Catalyst 2960 Switch Hardware Installation Guide*』(発注はできませんが、Cisco.com から入手できます)。ハードウェアおよび設置手順の詳しい説明が記載されています。
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 2960 Switch*』(Customer Order Number: DOC-7816665=)。適合規格、準拠性についての情報、および警告の各国語版が記載されています。

■ 問題が発生した場合

- 『*Catalyst 2960 Switch Software Configuration Guide*』(発注はできませんが、Cisco.com から入手できます)。製品の概要と、スイッチ ソフトウェア機能の詳しい説明および手順が記載されています。
- 『*Catalyst 2960 Switch Command Reference*』(発注はできませんが、Cisco.com から入手できます)。スイッチ用に作成または変更された Cisco IOS コマンドの詳しい説明が記載されています。
- 『*Catalyst 3750, 3560, 3550, 2970, and 2960 Switch System Message Guide*』(発注はできませんが、Cisco.com から入手できます)。スイッチ用に作成または変更されたシステム メッセージの説明が記載されています。
- デバイス マネージャのオンライン ヘルプ (スイッチで使用可能)

マニュアルの入手方法

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、Cisco.com で入手することができます。ここでは、シスコが提供している製品マニュアル リソースについて説明します。

Cisco.com

シスコの最新のマニュアルは、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

<http://www.cisco.com/jp>

シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Product Documentation DVD

Product Documentation DVD は、ポータブル メディアに収容された、技術的な製品マニュアルのライブラリです。この DVD を使用すると、シスコのハードウェア製品のインストール、ソフトウェア製品のインストール、設定、およびコマンドに関するガイドにアクセスできます。DVD を使用することで、次の URL にあるシスコの Web サイトに収録されている、HTML 形式のマニュアルおよび一部の PDF ファイルにアクセスできます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

Product Documentation DVD は、毎月作成され、その月の中旬に発行されます。DVD は、単独または購読契約で入手できます。Cisco.com に登録されている場合、次の URL にある Product Documentation Store の Cisco Marketplace から Product Documentation DVD (Customer Order Number DOC-DOCDVD= または DOC-DOCDVD=SUB) を発注できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/docstore>

マニュアルの発注方法

Cisco Marketplace にアクセスするには、Cisco.com にユーザ登録されている必要があります。登録されている場合、次の URL にある Product Documentation Store からシスコ製品のマニュアルを発注できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/docstore>

ログイン ID またはパスワードを取得されていない場合は、次の URL で登録手続きをしてください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>

シスコ製品のセキュリティ

シスコでは、無償の Security Vulnerability Policy ポータルを次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトから、次のタスクを実行できます。

- シスコ製品における脆弱性を報告する。
- シスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける。
- シスコからのセキュリティ情報を入手するために登録を行う。

シスコ製品に関する最新のセキュリティ勧告および注意事項の一覧は、次の URL で確認できます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

勧告および注意事項の更新をリアルタイムで確認するには、Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) フィードに登録します。PSIRT RSS フィードの加入に関する詳細については、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、安全な製品を提供することを目指しています。製品のリリース前に社内でテストを実施し、すべての脆弱性を迅速に修正するように努めております。お客様がシスコ製品の脆弱性を発見したと思われる場合は、次の PSIRT にご連絡ください。

- 緊急度の高い問題 security-alert@cisco.com
緊急度の高い問題とは、システムが攻撃を受けている状態、または急を要する深刻なセキュリティの脆弱性を報告する必要がある状態を指します。それ以外の状態はすべて、緊急度の低い問題とみなされます。
- 緊急度の低い問題 psirt@cisco.com

緊急度の高い問題の場合、次の電話番号で PSIRT に問い合わせることができます。

- 1 877 228-7302
- 1 408 525-6532



ヒント

お客様が第三者に知られたくない情報をシスコに送信する場合、Pretty Good Privacy (PGP) または PGP と互換性のある製品 (GnuPG など) を使用して情報を暗号化することを推奨します。PSIRT は、PGP バージョン 2.x ~ 9.x と互換性のある暗号化情報を取り扱うことができます。

無効な暗号鍵または失効した暗号鍵は使用しないでください。PSIRT への連絡時には、次の URL にある Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary セクションにリンクされている有効な公開鍵を使用してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このページのリンクに、現在使用されている PGP 鍵の ID があります。

PGP を所有または使用していない場合は、機密情報を送信する前に PSIRT に連絡し、他のデータ暗号化方法についてご確認ください。

Product Alert および Field Notice

シスコ製品に関する変更やアップデートは、Cisco Product Alert および Cisco Field Notice で発表されます。Cisco Product Alert および Cisco Field Notice を受信するには、Cisco.com で Product Alert ツールを使用してください。このツールでプロフィールを作成し、情報の配信を希望する製品を選択できます。

Product Alert Tool にアクセスするには、Cisco.com にユーザ登録されている必要があります (Cisco.com にユーザ登録するには、次の URL にアクセスしてください。 <http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>)。登録ユーザは、次の URL からこのツールにアクセスできます。

<http://tools.cisco.com/Support/PAT/do/ViewMyProfiles.do?local=en>

テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、評価の高い 24 時間体制のテクニカル サポートを提供しています。Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、広範囲にわたるオンラインでのサポート リソースを提供しています。さらに、シスコシステムズとサービス契約を結んでいる場合は、Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアによる電話サポートも提供されます。シスコシステムズとサービス契約を結んでいない場合は、リセラーにお問い合わせください。

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、オンラインで資料やツールを利用して、トラブルシューティングやシスコ製品およびテクノロジーに関する技術上の問題の解決に役立てることができます。Cisco Technical Support & Documentation Web サイトは 24 時間ご利用いただけます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト上のツールにアクセスする際は、いずれも Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ログイン ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL で登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

テクニカル サポートにオンラインまたは電話でお問い合わせいただく前に、**Cisco Product Identification Tool** を使用して、製品のシリアル番号をご確認ください。このツールにアクセスするには、Cisco Technical Support & Documentation Web サイトの、**Tools & Resources** リンク、**All Tools (A-Z)** タブを順にクリックし、アルファベット順の一覧から **Cisco Product Identification Tool** を選択します。このツールは、製品 ID またはモデル名、ツリー表示、または特定の製品に対する **show** コマンド出力のコピー & ペーストによる 3 つの検索オプションを提供します。検索結果には、シリアル番号のラベルの場所がハイライトされた製品の説明図が表示されます。テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、製品のシリアル番号のラベルを確認し、メモなどに控えておいてください。

**ヒント**

Cisco.com での表示と検索

ブラウザで Web ページが更新されていないと思われる場合は、Ctrl キーを押しながら F5 キーを押して、Web ページを強制的に更新してください。

技術情報を検索する場合には、Cisco.com Web サイト全体ではなく、技術マニュアルに限定して検索してください。具体的には、Cisco.com ホームページで、Search ボックスの下にある **Advanced Search** リンクをクリックし、次に **Technical Support & Documentation** オプション ボタンをクリックします。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。

Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register/>

Service Request ツールの使用

オンラインの TAC Service Request ツールを使えば、S3 および S4 の問題について最も迅速にテクニカル サポートを受けられます（ネットワークの障害が軽微である場合、あるいは製品情報が必要な場合）。状況をご説明いただくと、TAC Service Request ツールが推奨される解決方法を提供します。これらの推奨リソースを使用しても問題が解決しない場合は、TAC の技術者が対応します。TAC Service Request ツールは次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

問題が S1 または S2 であるか、インターネットにアクセスできない場合は、電話で TAC にご連絡ください（運用中のネットワークがダウンした場合、あるいは重大な障害が発生した場合）。S1 および S2 の問題には TAC の技術者がただちに対応し、業務を円滑に運営できるよう支援します。

電話でテクニカル サポートを受ける際は、次の番号のいずれかをご使用ください。

アジア太平洋：+61 2 8446 7411

オーストラリア：1 800 805 227

EMEA：+32 2 704 55 55

米国：1 800 553 2447

TAC の連絡先一覧については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

問題の重大度の定義

すべての問題を標準形式で報告するために、問題の重大度を定義しました。

重大度 1 (S1) ネットワークがダウンし、業務に致命的な損害が発生する場合。24 時間体制であらゆる手段を使用して問題の解決にあたります。

重大度 2 (S2) ネットワークのパフォーマンスが著しく低下、またはシスコ製品のパフォーマンス低下により業務に重大な影響がある場合。通常の業務時間内にフルタイムで問題の解決にあたります。

重大度 3 (S3) ネットワークのパフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用が機能している場合。通常の業務時間内にサービスの復旧を行います。

重大度 4 (S4) シスコ製品の機能、インストレーション、基本的なコンフィギュレーションについて、情報または支援が必要で、業務への影響がほとんどまたはまったくない場合。

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手することができます。

- Cisco Online Subscription Center は、シスコの各種 E メール ニュースレターなどの配信を申し込むことができる Web サイトです。プロフィールを作成し、配信を希望する内容を選択してください。Cisco Online Subscription Center には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/offer/subscribe>

- 『Cisco Product Quick Reference Guide』は、手軽に使えるコンパクトなリファレンス ツールで、チャネル パートナーを通じて販売されている多くのシスコ製品に関する製品概要、主な機能、製品番号、および簡単な技術仕様が記載されています。年に 2 回更新され、シスコの最新のチャネル製品が掲載されています。『Cisco Product Quick Reference Guide』の発注および詳細については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/guide>

- Cisco Marketplace では、さまざまなシスコの書籍、参考資料、マニュアル、およびロゴ入り商品を提供しています。Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- Cisco Press では、ネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を幅広く発行しています。初心者から上級者まで、さまざまな読者向けの出版物があります。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコシステムズが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- シスコシステムズが提供するネットワーク製品およびカスタマー サポート サービスについては、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>

- Networking Professionals Connection は、ネットワークの専門家がネットワーク製品やネットワーク技術に関する質問、提案、情報をシスコの専門家および他のネットワーク専門家と共有するためのインタラクティブな Web サイトです。ディスカッションに参加するには、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/discuss/networking>

- 『*What's New in Cisco Documentation*』は、シスコ製品の最新マニュアルリリースに関する情報を提供するオンライン資料です。毎月更新されるこの資料は、製品カテゴリ別にまとめられているため、目的の製品マニュアルを簡単に見つけることができます。最新の『*What's New in Cisco Documentation*』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/abtnicd/136957.htm>

- シスコシステムズは最高水準のネットワーク関連のトレーニングを実施しています。トレーニングの最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

シスコ製品（ハードウェア）に関する限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、Cisco.com で提供しています。次の手順を実行して、Cisco.com から *Cisco Information Packet*、および保証とライセンス契約書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpkc/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03B0 が選択されていることを確認します。

- b. 文書を表示する言語を選択します。

- c. **Go** をクリックします。

Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注) PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。

78-6310-02C0

- b. 文書を表示する言語を選択します。

- c. Go をクリックします。

Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、PDF アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

シスコ製ハードウェアは購入したエンドユーザが製品を所有または使用している限り、ファンおよび電源装置は 5 年間保証されます。製品の製造が中止された場合は、シスコでは製造中止の通知から 5 年間保証します。

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先：	
購入先の電話番号：	
製品モデル番号：	
製品シリアル番号：	
メンテナンス契約番号：	

